

合併号特集

# ボランティアって どんな「感」字?



「あなたにとっての『ボランティア』を漢字一文字で表すと何ですか？」  
ボランティア活動をしている皆さんに聞いてみました。

人それぞれ、さまざまな漢字が登場しましたよ。  
さて、これを読んでくださっているあなた。  
あなたにとっての「ボランティア」は、どんな「感」字ですか？



## 交

八ノテを持っていることなど関係なく、その人たちの喜ばせたい、力になりたいという気持ちを持つことで、知り合い、関わり、交じり合うことができます。ボランティアは人と人を交じり合わせることで、自分自身を成長させてくれるものだと思ひます。

(学生・20代・女性)

## 優

ボランティアだと思つからず。障がい者・高齢者・難病で苦しんでいる人、いたいな子どもなど生きていくために難儀をしている人たちへ、皆さんが少しでも、「優」しい愛をもって接することができれば、この世を明るくすることでしょう。それがボランティアの基本ではないでしょうか。

(80代・男性)

## 幸

光客が出す島の「山」を拾って過してきた老夫婦が、この先も島を守っていけると思ひるには、どうしたら「ふんば」で地域を創っている方々に出会える、「幸せ」、その人たちが少しでもよかたと思ひる時間を創りだす、「幸せ」、その気持ちを共有できる、「幸せ」、私のボランティア活動はそんな、「幸せ」を感じることです。

(大学職員・40代・女性)

## 人

ボランティア活動を日本語にするとしたら、「志」を持った民の活動、「志民活動」がいいなと思ひました。でも、漢字一文字で表すとしたら、「心」「志」「思」「情」「想」「創」「人」……、うーん。いろいろ浮かんで悩むけど、心のついた漢字が多いな。ボランティアは、一方的に誰かを助ける活動ではなく、活動した人も何かをもらつて元気になっていることを日々感じています。そうすると、人と人が支え合う、「人」という字がピッタリかな。

(NPO職員・50代・男性)

## 貢

ボランティアは義務ではなく、報酬があるわけでもありません。中には例外としてお礼などを頂く場合もありますが、根本として無償で行つている・行うものだと思ひています。人であつたり、地域であつたり、国であつたりと、何に対してボランティアを行うかは十人十色、千差万別ですが、共通していることは、それらに対して、「貢」献することではないでしょうか。誰か・何かに対して、「貢」献できていると思ひながら、私は日々ボランティア活動を行っています。

(大学生・20代・男性)

## 感

私にとってボランティアは、人との出会いにより感動をもらうものです。これまでに、ボランティアに参加するたびに何かを「感」じて、次の行動に突き動かされている自分がいたよつに思ひます。時に感情が揺さぶられたり、普段の仕事では味わえない体験も多く、いくつになつても学ぶことはたくさんあるのだなあと感じます。見えないパワーをもらえるボランティア、一つ一つの出会いに感謝しながら、今後も様々な活動に関わつていきたいです。

(看護師・30代・女性)

## 知

私はボランティアに参加するようになって、どのような社会問題が存在し、様々な非営利組織が問題の解決に向けて取り組んでいるかを「知る」ことができました。様々な世代や職種の方々に参加している活動に自分も参加することで、理解できることがいっぱいあります。社会貢献だけでなく、仕事や家庭といったこれまでの活動範囲を今一歩広め、自分自身を成長させることもできました。「知る」ことから始まるボランティアに、皆さんも参加してみませんか。私はボラみみの活動に参加できて、ほんとによかつたと思ひます。

(会社員・40代・男性)

